

令和2年

目黒区教育委員会

第28回定例会会議録

(令和2年8月18日開催)

第28回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年8月18日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長	檜本達司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	岡英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	片山順也
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	千葉富美子

書記		佐藤洋一
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	協議事項	令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について
日程第2	協議事項	令和3年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
日程第3	協議事項	令和3年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について
日程第4	議案第26号	令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)(意見聴取)
日程第5	議案第27号	令和元年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定について(意見聴取)
日程第6	議案第28号	令和2年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和元年度分)について
日程第7	報告事項	目黒区生涯学習実施推進計画の延伸及び改定の延期について(案)
日程第8	報告事項	「人権週間区民のつどい2020」の中止等について(新型コロナウイルス感染症拡大防止対応)
日程第9	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について

(午前9時30分開会)

○教育長 令和2年第28回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、櫻井委員
です。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を
許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後、傍聴の申請があった場合には、22人までその都度
許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択に
ついて)

○説明員 (資料により説明)

○教育長 ただいま事務局から説明がありましたとおり、本日も、これまでの
5回の協議に引き続いて、令和3年度から目黒区立中学校で使
用する教科用図書について、既にお配りしている調査研究委員会
報告書及び学校調査報告書を参考にしながら協議を進めてまいり
たいと思います。

資料1の採択日程のとおり、本日は全16種目中の11種目につ
いて協議をいたします。これら11種目については、これまでの
協議で既に委員の皆様からご意見を伺っているところですが、本
日は、付け加えるご意見があれば、それを伺いながら、採択候補を
1社に絞り、8月25日に採択の議決を行いたいと思います。

なお、これまでと同様、各委員及び私が発言する際に呼ぶ各教科
書の発行者名については、お手元の発行者一覧に記載の協議用記
号で呼ぶことといたしますので、よろしくお願ひします。

それでは、早速本日の協議に入ります。

まず、地理から協議を始めます。

地理につきましては、7月14日の協議でG社、I社の2社に絞

ったところでは。

○委員

I社の教科書では、持続可能な社会のテーマの中でSDGsの説明がなされている一方、G社の教科書では、世界の諸地域や地域の在り方のテーマの中でSDGsの説明がなされていました。

次に、教科書の使い方の説明について、G社の教科書よりI社の教科書のほうが、学習の流れや方法、学ぶ目標について簡潔明瞭に示されていると思いました。

また、領土問題に関しては、どちらも中立的な立場で記載されており、G社の教科書では地理的な視点から、I社の教科書では国際的な視点から言及されていると感じました。

自然災害に対する備えについては、I社の教科書では自助・共助・公助を基本として記載されていましたが、G社の教科書ではその記載がなく、ハザードマップの見方が不明瞭でした。

以上述べた点を総合的に鑑みて、私はI社を推薦したいと思います。

○委員

私は、I社を推薦いたします。

理由としては4つです。1点目は、世界の各州の自然環境と歴史と文化について、それぞれ見開き1ページを用いて丁寧に説明している点です。

2点目は、地理の教科では、グラフや地図を読み解く技能が必要となりますが、その技能を磨く必要性を明示し、丁寧に説明している点です。

3点目は、防災・安全教育として、日本の自然災害とそれに対する備え、ハザードマップを読み取る方法、防災情報の入手の仕方を丁寧に説明している点です。

4点目は、各節の振返りに設問が設けられていますが、必ず「持続可能な社会に向けて考えよう」というコーナーで、グループ活動を設けている点やそのテーマと自分たちとの関りについても考えさせている点です。

特に、地球規模の課題について、自分たちとの関わりを考えることは、地理の科目を学ぶ上で重要なことだと捉えています。

以上の理由から、I社を推薦いたします。

○委員

私は、今回の選定に当たって、地域の調査と防災・減災について比較しました。

まず、地域の調査のテーマの決定に当たり、G社の教科書では、地域の生活や歴史、環境問題などのヒントが提示されているほか、

グループでの話し合いによる参考例が提示されていました。一方、I社の教科書では、身近な地域を調査する際の視点や、疑問点が写真や吹き出しにより例示されており、調査の前に決めておくことや調査方法のよい点も明記されていました。

聞き取り調査については、G社の教科書では、調査先へのお礼の手紙の例が紹介されていました。一方、I社の教科書では、調査結果の発表会への招待などについて掲載されていました。

自然災害に対する備えについて、G社の教科書では、様々な災害や自衛隊、ボランティアによる支援や、防災対策が紹介されていました。一方、I社の教科書では、高齢者の避難などについての情報が掲載されているほか、自助・共助・公助についても明記されていました。

生徒が地域の調査や防災・減災に取り組む上で、G社の教科書には関連する語句が豊富に掲載されており、行動例の紹介もしているのに対して、I社の教科書には調査や防災に対する生徒の動機づけから記載されており、得られた情報を用いて、対話による課題解決に向かうための工夫がなされていました。これらの点を総合的に判断しまして、私はI社を推薦します。

○委員

私は、2社の教科書について、現代的なトピックに関わる部分の比較をしました。

まず、領土問題についての記述です。G社の教科書では、竹島と北方領土について「不法に占拠」という表現を用いており、I社の教科書では、北方領土、竹島、尖閣諸島について「日本固有の領土です」という表現にとどめていました。G社の教科書の表現は、国の見解に沿ったものであると思いますが、中学校の義務教育で、「不法」などの強い表現を用いるより、「日本固有の領土である」という記述に留めたほうがよいと思いました。

次に、アジア州についての記述です。G社の教科書では、韓国の取扱いが数行にとどまるとともに、北朝鮮についての記述がありませんが、I社の教科書では、韓国、中国についての記述がそれぞれ数ページ用いられていました。アジア州の中でも韓国については、日本と密接な関わりのある国ですので、中国と同程度の記載があったほうがよいと思いました。

次に、各地方の章ごとの振返りの部分についてです。G社の教科書では、未完成の図を埋める作業を設けており、おもしろい取組だと思いましたが、意図が伝わりづらい面もあると思いました。その

点、I社の教科書では、思考力、判断力、表現力を十分に養える課題が設けられていると思いました。

以上の点を踏まえまして、I社を推薦いたします。

○教育長

私もI社を推します。

I社の教科書では、巻頭で地理的な見方と考え方、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の関連性について、触れられています。また、それらを支えるコラム欄が充実しています。さらに、本文の記述や写真を必ず地図で確認させるつくりとなっています。これらの点から、I社の教科書は、地理の教科書として優れていると判断いたしました。したがって、I社を推します。

出ました意見を集約いたしますと、I社を推された方が5名全員ということですので、I社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、地理については、I社を採択候補といたします。

引き続き、2番目の歴史について協議いたします。

歴史につきましては、7月28日の協議でG社、I社の2社に絞ったところです。

○委員

G社、I社いずれの教科書も、構成がよく似ていると思いました。

ただ、G社の教科書では、「導入の活動」という項目が設けられ、その中で章としての探究課題、節としての探究ステップが分かりやすく記載されています。また、それをサポートする形で、章のまとめにおいて、その内容の確認項目が設けられています。

一方、I社の教科書では、章のまとめ方が画一的である印象を受けましたが、G社の教科書では、章のまとめにおいて、異なる角度からそれぞれの時代を見る工夫があり、それを対話的な活動につなげる取組がなされている点がよかったです。

また、そのほかにも、「みんなでチャレンジ」というコーナーで、対話的な活動を多数設けており、対話的な活動を通じて、同じ歴史でも異なる考えや意見があることを生徒たちが学ぶ点で有用だと思えます。

以上の理由で、G社を推薦したいと思います。

○委員

私は、民主政治の来歴、人権思想の広がりというテーマに絞り、G社、I社の教科書を比較しました。

まず、民主政治について、G社の教科書では、「民主化」の単元の文頭に、GHQの占領政策の基本方針が民主化であったことが記載されています。その後、政治の面で選挙権、経済の面で財閥解体、農村での農地改革などについて記載されています。

一方、I社の教科書では、「民主化政策の進展」という単元の文頭に、政党の自由な政治活動、普通選挙、労働3法などが取り上げられています。その後、財閥解体、農地改革、女性議員の誕生などについて記載されています。

次に、日本国憲法の3つの基本原理について、G社の教科書では、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について、巻末の用語解説に記載されており、戦争放棄の挿絵が掲載されています。

一方、I社の教科書では、憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について、本文中に掲載されています。

次に、教育の民主化について、G社の教科書では、男女共学の写真が掲載されており、その解説の中で、教育基本法と関連施策が紹介されています。

一方、I社の教科書では、コラムの中で教育基本法と教育の民主化が取り上げられており、その事例として、給食や男女共学の学級会が紹介されています。

以上のとおり比較を行い、G社の教科書では、民主政治や人権思想について、生徒の自学自習を促すためには、先生が授業の中で丁寧な説明を行う必要があるという印象を受けました。

一方、I社の教科書については、憲法の基本原理から身近な人権へのつながりについて丁寧に説明がなされているため、生徒の自学自習を促すつもりだと思いました。さらに、歴史に興味を持たせる工夫が随所に見られた点も評価しました。

これらのことから、私はI社を推薦します。

○委員

私もI社がよいと思います。

理由としては、前回もI社を選びましたので、その理由と重なりますが、I社の教科書の各時代の章の冒頭に「タイムトラベル」のイラストがありまして、そこで時代のイメージを持たせることができるため、分かりやすいと思いました。

また、領土問題については、地理、公民、歴史の3教科の教科書でそれぞれ触れられていますが、I社の教科書では、歴史的な経緯や、主張の根拠がまとめられているため、難しい問題である領土問題について正確に学ぶことができると思いました。

○委員

私は、両社いずれの教科書も、各章の導入部に、その時代の生活様式などをイメージできる様々な工夫がなされていると思いました。

I社の教科書の「タイムトラベル」のコーナーでは、2ページの見開きで、その時代の人々の生活が一目で想像でき、前後の時代の「タイムトラベル」のコーナーと比較することにより、時代の変化を理解することができます。また、小学校で学んだ出来事も記載されているので、振り返りもできるつくりとなっています。一方、G社の各章の導入部の「みんなでチャレンジ」というコーナーでは、対話的に学べる工夫がなされています。

各時代の生活文化をイメージでき、想像力を掻き立てる点については、G社の教科書よりI社の教科書のほうが優れていると思いました。

また、両社いずれの教科書も、中立的立場で歴史の出来事が記載されており、その表現にも差がないと思いました。

それから、「二度の世界大戦と日本」の章では、G社の教科書は44ページで写真が90枚、I社の教科書は56ページで写真が89枚となっており、G社の教科書のほうが写真が1枚多いのですが、構成は同様であり、優劣をつけることが困難でした。

両社いずれの教科書も、負の遺産と正の遺産の両面についての記載があり、バランスが取れていると思いました。

以上述べたとおり、両社の教科書に優劣をつけることが困難でしたが、I社の教科書の「タイムトラベル」のコーナーがおもしろく、歴史に興味を持たせる素晴らしい工夫だと思いましたので、I社を推薦したいと思います。

○教育長

私はG社を選びました。

歴史の教科書については、中学生に通説を身につけてもらうこと、あわせて、歴史上の一つの出来事にも多様な見方が存在し、それに気づいてほしいという2つの点を重視して検討しました。

G社、I社いずれの教科書も、これらの点を満たしており、甲乙つけがたいのですが、G社の教科書では新学習指導要領のポイントの一つとされています人権思想の広がりについて、しっかり触れられていると思い、この差でG社を推すことといたしました。

出ました意見を集約いたしますと、I社を推された方が3名、G社が2名となっておりますので、I社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、歴史については、I社を採択候補といたします。
引き続き、3番目の公民について協議いたします。
公民につきましては、7月28日の協議でG社、I社の2社に絞ったところ です。
- 委員 私は、「情報化による現代社会の構造的変化」というテーマに絞り、G社とI社の教科書を比較いたしました。
まず、現代社会の特色について、G社の教科書では、初めに持続可能な社会が取り上げられ、次にグローバル化、少子高齢化、情報化、新しい情報技術などが紹介されています。
一方、I社の教科書では、初めに情報化が取り上げられ、グローバル化、少子高齢化、AIの減災への活用、神戸の防災に関わる事例などが紹介されており、最終章で持続可能な社会が取り上げられています。
次に、社会生活の決まりについては、G社の教科書では、決まりをつくる方法、全会一致、多数決、少数意見の尊重などが解説され、その一例として部活動の場面が紹介されていました。
一方、I社の教科書では、初めに地域の防災施設が取り上げられ、計画立案、地域社会での対話的活動などが紹介されており、ロールプレイングの表現技能を用いることにより、集団の中で合意を目指す取組みを行い、その能力を養う工夫がなされています。
G社の教科書は、社会科が好きな生徒の知識を、より豊かに成長させるつくりとなっている印象を受けました。
一方、I社の教科書は、社会科に苦手意識を持つ生徒であっても、学びに向かう動機づけから始め、歴史や公民に関わる話題により、家族や地域社会で対話できることをねらいとしている印象を受けました。また、自学自習を促す工夫もなされていると思いました。
以上、総合いたしまして、私はI社を推薦します。
- 委員 公民につきましては、前回の協議で、私自身はG社とI社を選びましたので、どちらも優れた教科書だと考えています。
今回、再度両社の教科書を読み比べました。史実についてはどちらの教科書も同じ内容が記載されていますが、その史実の説明の記述が、G社の教科書に比べて、I社の教科書のほうが優れていると思いました。

例えば、最重要項目の一つである日本国憲法の制定についての記述ですが、I社の教科書のほうが、ポツダム宣言の受託から日本の民主化、人権尊重の要求、GHQによる素案作成、議会での議決、改正という流れについて、丁寧な理由付けがなされていると思いました。

また、I社の教科書の「アクティブ公民」、「技能をみがく」の項目で取り上げられている課題が、身近な問題であり、思考力、判断力、表現力を養うことに資するものだと思います。

以上より、I社を推薦いたします。

○委員

私は、現代社会で自分らしく主体的に生きるためには、自分で考える力を養うことが必要であると考えています。そのためには、人の気持ちを理解し尊重しなければなりません。したがって、公民の教科書では、対話的な学びに力を入れたものがよいと考えています。

まず、G社の教科書では、各章ごとの導入の活動で、「気づいたことを話し合う」、「探究課題」、「みんなでチャレンジ」のコーナーが設けられており、対話による学びを重視していると思いました。

一方、I社の教科書では、各節の様々なところで「アクティブ」というコーナーが設けられており、課題について話し合うつくりとなっていますが、G社の教科書のほうが、対話をより重視していると感じました。

また、G社の教科書では、まとめの活動で、初めの導入の活動と同様の問題を掲載しており、振り返りを行えるつくりとなっています。

次に、領土をめぐる問題、差別などについて、両社の教科書を比較してみました。

領土問題については、両社いずれの教科書も、本文で事実経過が客観的に説明されていますが、G社の教科書のほうが、より客観的に説明されている印象を受けました。

差別については、G社の教科書では平等権について4ページ、I社の教科書では平等権や日本社会の差別の現状について6ページを用いて記載されています。

全体的に見て、G社の教科書のほうが、差別解消について、基本の問いかけをしていると思いました。以上のことから、総合的に勘案して、私はG社を推します。

- 委員 G社、I社いずれの教科書も、素晴らしい教科書だと思いましたが、結論から申しますと、私はG社を推薦したいと思います。
- 理由としては、まず、人権について丁寧に説明されている点です。人権の基本的な事項について、6ページにわたり説明がなされており、「新しい人権」や「グローバル社会と人権」のテーマについても言及されています。また、「共生社会」や「性の多様性の尊重」のテーマについても取り上げ、丁寧な説明がなされている点もよかったです。
- 次に、日本国憲法の章から民主政治への章の内容の並び方が、私には分かりやすかったです。
- 最後に、「だれを市長に選ぶ？」という項目において、自分のこととして捉えるための工夫がなされていることがよかったです。
- ただ、I社の教科書もテレワークについての記述があった点や、「難民をどのように支援していきますか」など、興味深い題材があった点がよかったですのですが、総合的に考えて、G社を推薦したいと思います。
- 教育長 私は、I社といたしました。
- G社、I社の教科書いずれも、生徒が自ら考え、自ら学びを深めていけるつくりになっており、どちらもよくできた教科書だと思います。
- ただ、7月14日の最初の協議のときにも申し上げましたが、G社の教科書の「選挙の流れ」の図の中で、現役の国会議員の写真が大きく掲載されていたり、議員活動の例として、「金帛火来」と言われている実態が図で示されている点が、教科書として適切なのか、疑問が残りました。
- その他の内容については、どちらの教科書とも、きちんとできていましたので、今指摘した点をもってI社といたしました。
- 出ました意見を集約いたしますと、I社を推された方が3名、G社が2名となっておりますので、I社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、公民については、I社を採択候補といたします。引き続き、4番目の地図について協議いたします。地図につきましては、発行者が2社のため、7月14日の協議で

はご意見を伺うのみとしたところです。

○委員 2社の地図帳を見比べまして、私はH社の教科書のほうが優れていると思いました。

H社の教科書のほうが判型が大きいいため、地図が見やすいこと、また、H社の教科書のほうが、必要最小限の資料にとどめられているため、全体的にすっきりした構成になっていることから、H社がよいと思いました。

○委員 私も前回と同様です。H社の教科書のほうが、G社のものより大きくて見やすいと思います。H社の教科書は、日本列島全体の地図が3ページで見開きとなっており、見やすいです。それから、アメリカ大陸の横に、経度、緯度、尺図を合わせた日本地図が並んでいるため、比較でき、イメージがしやすいと思いました。

また、大陸の立体図が多く、視覚的にイメージしやすかったです。以上から、私はH社を推します。

○委員 私もH社を推薦いたします。

理由としては、小学校で学習した「地図の約束」のコーナーを含め、地図帳の使い方が5ページにわたり巻頭で説明されている点です。

また、地図の資料ですが、G社の教科書でも、諸地域の特色が取り上げられている点は興味深かったのですが、H社の教科書では、世界各州の資料については、植生と土地利用から日本との結びつきまでの情報が網羅されており、日本各地の資料については、自然や防災のテーマでそれぞれ掲載されており、分かりやすく、地図そのものも見やすかったです。

また、要所に「地図活用」という設問が用意されており、地図の読み取り方など、地理的スキルを身につけられる工夫がなされている点も評価しました。

以上のことから、私はH社を推薦いたします。

○委員 私もH社を推薦いたします。

理由としては、前回の協議でも申し上げましたが、世界地図の随所に日本地図と比較できる工夫がなされていることや、東京都の中心部の地図で、目黒区の道路、河川、鉄道が特定できるつくりとなっていることから、生徒の主体的な学びを促すつくりになっていると考えたためです。

そのため、H社の教科書のほうが優れていると評価いたしまして、H社を推薦いたします。

- 教育長 私も、H社を推したいと思います。
判型が大きいと、地図としての安定感がありますし、生徒が世界の広さや、外国の都市と都市の間の距離などを実感できる様々な工夫がなされているため、H社を推したいと思います。
出ました意見を集約いたしますと、H社を推された方が5名全員となっておりますので、H社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、地図については、H社を採択候補といたします。
引き続き、5番目の保健体育について協議いたします。
保健体育につきましては、7月14日の協議でG社、J社の2社に絞ったところです。

- 委員 目次のページでは、G社の教科書のほうが、どこに何が掲載されているか分かりやすいと思えました。一方、巻頭のテーマでは、J社の教科書の方が保健と体育のバランスがよいという印象を受けました。

また、J社の教科書の「いつも話せる相手があります」のコーナーでは、いじめや悩んだときの相談窓口や電話番号、相談方法などがきめ細かく掲載されており、配慮がなされていると思えました。

また、「教科書の使い方」というテーマでは、両社いずれの教科書も構成が同じですが、G社の教科書ではDマークコンテンツの仕組みが掲載されており、おもしろかったです。

どちらを推すか悩みましたが、きめ細やかさの点を重視しまして、私はJ社を推します。

- 委員 結論から申し上げますと、私もJ社を推薦いたします。

理由としては、学習指導要領の改訂の具体的な事項である「ストレス対処」の項目がJ社の教科書ではとても充実していた点や、章末のページでは、資料や事例が掲示されているほか、「考えてみましょう」、「調べてみましょう」というコーナーが設けられ、学習に向かう態度を育む工夫がなされている点がよかったです。

G社の教科書は、QRコードを用いたコンテンツが充実している点がよかったですのですが、教科書そのものの内容を総合的に勘案した結果、J社を推薦したいと思います。

- 委員 私は、保健体育の中の体育編のスポーツの意義や効果について、

G社とJ社の教科書を比較しました。

体へのスポーツの効果について、G社の教科書では、本文で体力のプラス面について、巻末資料で体力の要素について詳しく解説されています。

一方、J社の教科書では、健康に生活するための体力と、運動を行うための体力について、分けて記載されており、運動不足や体力低下により生じるマイナス面についても明記されています。また、災害から生命を守るため、避難時や避難生活時の体力の必要性についても明記されています。

スポーツの安全な実施方法について、G社の教科書では、本文で野外活動時の注意点や対策について記載されており、巻末資料でその解説が詳しくなされています。

一方、J社の教科書では、単元の本文でスポーツ活動の自己管理の大切さや、野外スポーツ時に必要な自然に関する知識が記載されています。

以上述べたとおり、G社の教科書は、知識や技能について詳しく解説されており、保健体育が好きで、自学自習に抵抗のない生徒には使いやすいものだと思いますが、J社の教科書は、体育が苦手な生徒でも自学自習が行いやすく、また、自学自習を手助けする工夫が随所に施されている印象を受けました。これらのことを勘案した結果、私はJ社を推薦します。

○委員

私もJ社を選びました。

理由としては、実習の部分で、心肺蘇生法や傷の応急手当てのやり方について、図や写真が大きく掲載されているため、見やすく、また、本文で丁寧に解説されているため、生徒が自学自習しやすい点を評価しました。

また、「探究しようよ！」のコーナーでは、実生活に役立つ知識や生徒の興味を引くトピックが取り上げられており、生徒が自発的に学習するための工夫がなされていると思いました。

○教育長

私はこれまで、G社、J社のうち、G社を推しており、本日もG社を推すことといたします。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推されたのが4名、G社を推したのが1名となっておりますので、J社を採択候補としたいと思います。よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、保健体育については、J社を採択候補といたします。
引き続き、6番目の音楽（一般）について協議いたします。
音楽（一般）につきましては、発行者が2社のため、7月21日の協議ではご意見を伺うのみとし、本日の協議で1社に絞ることとしております。
- 委員 私はH社を推薦いたします。
理由は4点です。1点目は、教科書の構成が簡潔であり、分かりやすい点です。2年生及び3年生の下巻の教科書に音楽史について年表が掲載されていますが、H社の教科書のほうが見やすかったです。
2点目は、「深めよう！音楽」や「Let's Create!」などの項目で、他者との協力により音楽表現を生み出すなどの工夫が多くなされている点です。
3点目は、区立中学校は合唱コンクールを行事として取り扱っていますので、指揮について詳しく掲載されている点です。
4点目は、「生活や社会の中の音楽」の項目が全ての学年の教科書に入っている点です。2年生及び3年生の下巻では、音楽教育とSDGsとの関連についての記載がある点も、高く評価しました。
- 委員 私は、「生活や社会での音楽の意味、役割」のテーマについて、G社とH社の教科書を比較しました。
G社の教科書では、「わたしたちのくらしと音楽」の項目で、音楽著作権、芸術普及活動、教育活動、音楽療法が取り上げられ、音楽の意味や役割が解説されています。
一方、H社の教科書では、「生活や社会の中の音楽」の項目で、音や音楽の果たす役割、芸術普及活動、地域、環境、時代に伴う音楽の広がりが取り上げられ、仕事や、音楽教育、SDGs、難民キャンプでの音楽教育支援などについても紹介されています。
以上、生活や社会での音楽の意味・役割について、様々な角度から生徒に気づかせる工夫がなされている点を評価して、私はH社を推薦します。
- 委員 私もH社を選びました。
理由としては、H社の教科書のほうが若い世代に親しみやすい選曲がなされており、コラム欄で指揮者や演奏者の感想が記載されていることが、生徒にとって参考になると感じたためです。
- 委員 私は、両社の教科書の共通した項目を比較しました。まず、巻頭

の学習方法についてです。どちらも同様のテーマを取り扱っていましたが、H社の教科書のほうが見やすく、分かりやすいと思いました。

次に、変声期についてですが、H社の教科書では、「歌声づくり」の項目から詳細なページへの誘導があり、そのページに詳しい説明が掲載されている一方、G社の教科書では、「音声と混声合唱」の項目で、変声期についての説明が掲載されているつくりとなっています。

最後に、両社の教科書に共通している楽曲の「赤とんぼ」、「ソーラン節」、「魔王」、「君が代」を比較したところ、H社の教科書のほうが詳細に説明がなされていると思いました。これらの点を総合的に勘案して、私はH社がよいと思いましたので、H社を推薦いたします。

○教育長 私もH社を推します。H社の教科書は、導入部分がよくできており、生徒たちの歌いたい、創作したい、鑑賞したいという気持ちを高めるつくりになっていると思います。

また、技術面の解説でも、H社の教科書では、なぜそうするとよいのかという記述が多くなされていると判断いたしました。よって、H社です。

出ました意見を集約いたしますと、H社を推されたのが5名全員となっておりますので、H社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、音楽（一般）については、H社を採択候補といたします。

引き続き、7番目の音楽（器楽）について協議いたします。

音楽（器楽）につきましては、発行者が2社のため、7月21日の協議ではご意見を伺うのみとし、本日の協議で1社に絞ることとしております。

○委員 私は、音楽（一般）でH社を推薦しましたので、音楽（器楽）についてもH社を推薦します。

H社の教科書は、生活や社会での音楽の意味、役割を生徒に気づかせるための工夫が随所になされているほか、巻頭の著名人の言葉が、私にとって非常に印象的でした。

- 委員 私もH社を選びました。
理由としては、音楽（一般）でH社を推したことや、H社の教科書の選曲が最近のものが多いことから、生徒にとって親しみやすく、演奏してみようという気持ちにさせるといったためです。
- 委員 私は、両社の教科書について、リコーダーの項目で比較しましたが、差をつけることができませんでした。ただ、H社の教科書は、各レッスンごとに学ぶ内容が明確であり、Q&Aなどのサポートも充実していると思いました。
また、G社の教科書では、太鼓の演奏については男性の写真が、琴の演奏については女性の写真が掲載されている一方、H社の教科書では、どちらの楽器についても男女両方の写真が掲載されており、両社の姿勢の違いを感じました。
最後に、音楽（一般）と音楽（器楽）については、同一の教科書がよいという意見もありまして、これらを踏まえて、私はH社を推薦したいと思います。
- 委員 私もH社を推薦いたします。
太鼓以外の様々な打楽器の取扱いや歴史などについて詳細に掲載されていること、巻末資料がG社の教科書より分かりやすいこと、音楽（一般）と音楽（器楽）は、担当教員が同じである場合が多いため、同じ出版社のほうが教えやすいと思ったことが推薦の理由です。
- 教育長 私もH社を推したいと思います。
楽器の掲載順はG社の教科書のほうが分かりやすいと思いましたが、H社の教科書では、カスタネットやタンバリンなどの楽器についても丁寧に触れられており、その点でカバーできていると思いました。
また、音楽の授業では、音楽（一般）と音楽（器楽）の教科書を併せて使用する場面も多いという話もありますので、音楽（一般）の教科書とそろえるため、H社を選択することは妥当であると判断いたしました。
出ました意見を集約いたしますと、H社を推されたのが5名全員となっておりますので、H社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（各委員同意）

- 教育長 それでは、音楽（器楽）については、H社を採択候補といたします。
 引き続き、8番目の技術について協議いたします。
 技術につきましては、7月21日の協議でG社、I社の2社に絞ったところ です。
- 委員 技術につきましては、前回の協議で、G社を選択しましたので、
 今回もG社を選択します。
 理由としては、G社の教科書のほうが主な学習課題である工作と栽培について、作業の手順がより丁寧に解説されているという印象を受けたためです。
- 委員 私は、巻頭部分の目次、学習の流れ、作業の安全など、全体を通してG社の教科書のほうが視覚的に見やすいと思いました。
 また、「技術室での作業の安全」の項目では、イラストから「危ない行動や状態を見つけて発表しよう」という課題が設けられており、考えさせる工夫がなされていました。
 さらに、ガイダンスで取り扱うテーマが、G社の教科書のほうが魅力的だと思いました。
 最後に、将来のエネルギー変換技術の説明については、G社の教科書のほうが簡潔明瞭で、理解しやすいと思いました。
 以上のことから、私はG社を推薦したいと思います。
- 委員 G社、I社どちらの教科書とも、単元の並び方や見開きごとに目標が設定されている構成が同じであり、単元末には学習のまとめが設けられており、学びを定着させるための工夫がなされています。
 ただ、G社の教科書では、学習のまとめが用語の解説だけでなく、基本、発展、生活への活用という形で設問が設けられている点や、「未来のTechnology」という項目で、学んだ技術を未来にどのように改良・応用させていくか考えさせる点を評価しました。技術は未来のためにあることを考えさせる点もよかったです。
 情報の技術の単元で、1ページずつめぐりながら、どちらの教科書が分かりやすいかという点を見比べましたら、情報モラルや情報セキュリティ、今回の学習指導要領で取り上げられている双方向性のあるコンテンツのプログラミングの項目について、丁寧に記載されており、分かりやすい点もよかったです。
 以上の理由から、G社を推薦いたします。
- 委員 私は、I社を推薦したいと思います。

私は、生活や社会を支える技術について、両社の教科書を比較しました。

G社の教科書では、学習を通してよりよい生活や持続可能な社会を構築するための資質・能力を身につけるため、技術を学ぶ点が強調されていると思いました。

一方、I社の教科書では、学習の目的の中で、「その技術が生活や社会で果たしている役割に気づく」と明記しており、本文の初めに生活や社会の中での技術の成果に気づきやすいイラストや写真が紹介されています。I社の教科書は、苦手意識を持った生徒でも身近な生活や社会の中で技術分野に気づき、自学自習を行えるものだと思いますので、私はI社を推薦します。

○教育長 私は、7月21日の協議でG社を推しましたので、本日もG社を推すことといたします。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推されたのが4名、I社を推されたのが1名となっておりますので、G社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、技術については、G社を採択候補といたします。

引き続き、9番目の家庭について協議いたします。

家庭につきましては、7月21日の協議でG社、I社の2社に絞ったところです。

○委員 両社いずれの教科書とも、各テーマの初めに、何を学ぶか明確に記載されており、小学校の振り返り、他教科との関連性、学習のまとめ方についても掲載されています。

私は、消費生活と環境のテーマが実社会で重要だと考え、このテーマについて両社の教科書を比較しましたが、ほぼ同様だと感じました。ただ、I社の教科書のクーリングオフ制度とJADMAマークとの比較に関する記述は、おもしろいと思いました。

また、消費者被害・トラブルについてですが、G社の教科書では、キャラクターのイラストに生徒自身の考えを記載させるつくりとなっていますが、I社の教科書では、他者と協力してロールプレイを行い、学びを進めるつくりとなっており、対話的な学びを重視するつくりとなっています。

また、I社の教科書で、中学生の消費者被害など、低年齢化する

被害に関する記載がある点を評価しました。

高齢化社会での地域との関わりについては、I社の教科書では、「地域で暮らす高齢者、高齢者との関わり」について4ページの記載が、G社の教科書では、「家族や地域の高齢者との関わり」について2ページの記載があります。

災害への備えについては、I社の教科書では、目次で独立した項目として扱っている一方、G社の教科書では、巻末資料に掲載されており、切り離しができるため、実生活に役立つつくりとなっています。

以上挙げた点を総合的に勘案しまして、私はI社の教科書を推薦したいと思います。

○委員

私は、I社を推薦いたします。

理由としては、I社の教科書は、学習指導要領に沿って、学習内容を進めるつくりとなっているためです。

次に、調理実習のページで、なぜ沸騰してから食材を入れるべきかなど、科学的根拠に基づいたQ&Aが設けられている点を評価しました。

また、「消費生活と環境」の單元では、中学生の売買契約や、消費者被害について記載されており、中学生を対象とした内容が充実している点も評価しました。

また、学習の節目ごとに振り返りが設けられているほか、単元の終わりに学習のまとめが設けられているのですが、その中の「学びに向かう設問」では、サザエさんの4コマ漫画を用いた設問が用意されるなど、力を入れた工夫がなされており、素晴らしかったです。

技術と家庭科は同じ教科書がよいという意見も耳にしますが、私はI社を推薦いたします。

○委員

私は、家族・家庭生活と地域の関わりについて、G社とI社の教科書を比較しました。

まず、G社の教科書では、巻頭のガイダンスで、生活場面の機能についてイラストを用いた説明がなされ、最終章で家族との関わり、地域の高齢者との関わりについて記載されています。

一方、I社の教科書では、最初の章で、家庭機能を支える仕事や家庭機能の安定について解説がなされ、生徒の話し合いを促す工夫がなされています。

また、地域の高齢者との関わりについて、G社の教科書では、加齢による体の変化が紹介されています。

一方、I社の教科書では、地域に暮らし、見守りが必要な高齢者や介助・看護についての記載があり、高齢者との関わりの具体例も丁寧に紹介されています。また、持続可能な家庭生活についても記載があります。

私は、家庭科に苦手意識を持った生徒でも、取り組みやすい教科書を選択したいと思います。G社の教科書は、家庭科に苦手意識がなく、自学自習を行える生徒に適した教科書である印象を受けました。

一方、I社の教科書は、家庭科に苦手意識を持つ生徒でも、身近な生活や社会と家庭科との関連性に気づき、自学自習に進むことを目指す教科書である印象を受けました。

したがって、私はI社を推薦いたします。

○委員

私は、G社がよいと思います。

理由としては、家庭科の主要な目的は、今後の人生において、自力で生活していく上で必要な衣食住に関する知識や技能を習得することだと考えており、衣食住に関する実践的な学びに力を入れているG社の教科書のほうが優れていると思ったためです。

以上より、G社を推します。

○教育長

私はI社を推すことといたします。I社の教科書では、巻末の折り込みページを含め、8ページにわたり災害と日常生活について考えさせる記述があるところ、また、中学生の消費者被害の項目が設けられているところから、今後の成人年齢の引下げなどを考慮したつくりになっていると思いました。

したがって、I社を推します。

出ました意見を集約いたしますと、I社を推されたのが4名、G社を推されたのが1名となっておりますので、I社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、家庭については、I社を採択候補といたします。

引き続き、10番目の英語について協議いたします。

英語につきましては、7月28日の協議でG社、I社の2社に絞ったところです。

○委員

結論から申し上げますと、G社を推薦いたします。

理由としては、教科書の構成が分かりやすく工夫されているた

ためです。「Preview」、「Mini Activity」、「Unit Activity」のコーナーで基礎から順序立てて学習を進めるつくりは、学びやすいと思いました。

また、各ユニットで学習すべき文法項目について、分かりやすく書かれている点や、そのポイントが日本語で書かれている点は、生徒たちの理解に役立つものだと思います。

また、メインのユニット以外に、日常生活で用いることができる英語を、4技能でバランスよく盛り込んでいる点もよかったです。

最後に、QRコードコンテンツによる英語の音声は、I社のものよりネイティブに近い発音やスピードだと思います。以上の理由から、私はG社を推薦いたします。

○委員

私は、学習指導要領の改訂ポイントである「社会的な話題に関する対話的な言語活動」のテーマについて、両社の教科書を比較検討しました。

まず、G社の教科書では、3年生の最終章で、「日本は住むのによい国である」という議題で、ディベートを行うつくりとなっています。議題に関する留学生の意見を読み、賛成、反対の理由と反論を文章例から選び、ディベートの手順や役割分担を確認し、賛成側、反対側に分かれてそれぞれの主張のメモをつくり、ディベートに取り組みます。

一方、I社の教科書では、2年生と3年生の最終章で、ある市の社会的な話題についてディスカッションを行うつくりとなっています。市民から寄せられた意見を読み、ペアやグループで市民の意見を整理し、登場人物グループのディスカッションを聞き、生徒自身の考えを整理し、書きとめ、最後にグループで話し合わせます。

私は、G社の教科書にディベートが設けられていることについて、英語が得意で積極的に学ぶ生徒にとってはよい題材となりますが、英語に苦手意識を持つ生徒には、少々ハードルが高いという印象を受けました。

一方、I社の教科書にディスカッションが設けられていることについては、生徒が社会的な話題について話し合うことにより、社会や道徳など他教科とのつながりを意識することも期待できるため、I社の教科書のほうが優れている印象を受けましたので、私はI社を推薦いたします。

○委員

私は、2社の教科書を比較した結果、I社を推します。

理由としては、I社の教科書にあるレッスンごとの「ポイント

ドリル」という項目が文法のまとめとして分かりやすく、上手に整理されている印象を受けたためです。また、テキスト自体にも会話文が多いため、生徒が日常で用いることのできる内容だと思いました。

また、2年生と3年生の巻末の物語の題材がバラエティに富んでおり、英語で読むのに適したものが多く含まれていると思いました。

以上により、私はI社を推します。

○委員 私は、生徒の英語力を底上げするためには、小学校の学習が十分になされていることを確認できる教科書がよいと思います。

両社いずれの教科書とも、小学校の振返りが重視されたつくりであるため、よいと思いますが、G社の教科書では、アルファベットの名前や音など、英語の基礎の振返りから学習をはじめのつくりとなっている一方、I社の教科書では、基礎的な英語の会話からはじまり、身の回りの日常会話へと進むつくりとなっています。

また、I社の教科書は、G社の教科書よりも身の回りの日常生活を題材とするものが多い印象を受けました。その一方、G社の教科書は、学習する内容が目次で明確となっている点が優れていると思いました。

また、G社の教科書の巻末では、小学校で学ぶ単語と中学校で学ぶ単語が区別されており、中学生で習得する必要がある単語が明確となる工夫がなされています。それから、G社の教科書の学習の振返りである「CAN-DOリスト」は、I社の教科書のものより学ぶ目標などが明確であるため、自身で確認しやすいつくりとなっています。さらに、目黒区の小学校ではG社の教科書を使用しているため、中学校への学びが円滑につながると思いますので、私はG社を推薦いたします。

○教育長 私は、G社を推します。

英語については、小学校時代の学びとの接続や、苦手意識を生じさせない視点が大事だと思います。

G社の教科書では、小学校での学びの振返りから学習がはじまりますので、その点が配慮されていると思います。

また、どの教科書も会話を重視したつくりとなっていますが、その一方で、辞書を引く習慣を生徒に身につけさせることは重要だと考えています。G社の教科書は、辞書の使い方等についても丁寧な記述がなされていると判断をいたしました。

したがって、G社を推すこととしました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推されたのが3名、I社を推されたのが2名となっておりますので、G社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、英語については、G社を採択候補といたします。
引き続き、本日最後の道徳について協議いたします。
道徳につきましては、7月28日の協議でG社、J社の2社に絞ったところです。
- 委員 私は、安全に生きるというテーマに絞り、G社とJ社の教科書を比較しました。
G社の教科書では、「安全で健康な生活」をテーマに、1年生では山登りを教材として、無謀と頑張りの違いが取り上げられ、一時の判断で誤った決断を反省する人間の理性的な部分が紹介されています。2年生では、東日本大震災での中学生の行動を教材として、非常時のマニュアルや、避難訓練どおりにいかない状況下での判断が取り上げられています。3年生では、歩きスマホによる事故を教材として、自身の生活の見直しを取り上げられています。
一方、J社の教科書では、「安全に生きる」をテーマに、1年生では、自転車での自損事故を教材として、自転車の乗り方、地域の安全、防犯について取り上げられています。2年生では、避難所生活を教材として、自助、共助、減災が取り上げられ、熊本地震の避難所で活躍した中学生や、避難用の持出品が紹介されています。3年生では、かけがえのない郷土を襲った大津波を教材として、自分の命を守るための避難三原則、自然災害からの避難方法が取り上げられています。
以上の点から、G社の教科書は、教材の文章と文末の簡潔な設問で構成されており、安全に関わる情報を過剰に与えず、生徒の主体的な判断に委ねるつくりであると思いました。
一方、J社の教科書は、教材の文章と文末の簡潔な設問で構成されている点はG社の教科書と同様ですが、生活や社会での安全に関わる情報が加えられ、他者と共に生きることを気づかせ、社会や保健体育など他教科とのつながりによって深い学びを促すつくりがなされているという印象を受けました。

以上の点から、総合的に勘案し、私は、J社を推薦します。

○委員

私は、2社の教科書を読み比べまして、両方とも内容が充実していると思いましたが、比較した結果、G社を選びました。

J社の教科書は、G社の教科書に比べて字が小さく、読みづらいという印象を受けました。

また、J社の教科書は、いじめの問題を重点的に取り上げている印象を受けましたが、G社の教科書も「いじめのない世界へ」という項目で、いじめの問題を大きく取り上げていますので、どちらもいじめ問題を十分に取り上げていると思いました。

G社の教科書では、裏表紙にQRコードが掲載されており、本文に関連する資料などをインターネットで見ることができる工夫がなされており、その点が優れていると思ひまして、G社を選びました。

○委員

私は、生徒が他者の立場、意見を尊重することを対話により学べ、かついじめ問題を多面的に考えさせる教科書がよいと思います。

この視点で検討したところ、両社いずれの教科書とも、対話による学びやいじめ問題について盛り込まれたつくりとなっており、よくできたものであるため、優劣をつけることが困難でした。

ただ、G社の教科書では、巻頭で対話の重要性が示されており、1年間での学びの内容も明確で、自身の気持ちを記載する欄も設けられているなど、対話による学びを特に重視したつくりになっていると思ひました。

また、いじめ問題については、G社の教科書では、教室風景のイラストから、いじめに当たるのはどれか生徒自身に考えさせ、対話から深い学びへと誘導するつくりになっている点も評価しました。

以上の理由から、私はG社を推薦したいと思ひます。

○委員

私は、J社を推薦いたします。

理由としては、G社、J社いずれの教科書とも、設問が簡潔であり、生徒たちに自由な思考を促すつくりであると思ひました。

G社の教科書は、色合いが淡く、判型が少し大きいため、余白があり、落ち着いた教科書である印象を受けました。ただ、教材そのものを読み比べた場合、私には、J社の教科書の教材のほうが生徒にとって読みやすく、心に入っていくものが多いと思ひました。また、作者の写真や似顔絵が題名の下にあることも、生徒たちの読む意欲を促す工夫だと思ひました。

最後に、J社の教科書では、教材の後に設けられている参考の項

目が分かりやすく、教材で学習した後、学習した知識をより深く広くするために役立つつくりになっていると思いました。

以上の点から、私はJ社を推薦いたします。

○教育長

私は、G社を推すことといたします。

巻頭で話合いの方法や目的を示した記述があり、道徳の授業とはどういう授業なのかについて、最初に生徒たちに示しているところがよいつくりだと思いました。

また、いじめの問題についても、生徒同士の意見交換がどこまでも深まっていくと感じさせる教材が掲載されているところを評価し、推すことといたしました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推されたのが3名、J社を推されたのが2名となっておりますので、G社を採択候補としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、道徳については、G社を採択候補といたします。

本日の協議はここまでです。

本日協議をいただきました地理、歴史、公民、地図、保健体育、音楽（一般）、音楽（器楽）、技術、家庭、英語、道徳につきましては、本日の結果を踏まえまして、8月25日に議案を提出させていただきます。

委員の皆様、6週にわたる協議お疲れさまでした。まことにありがとうございました。

ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時59分休憩)

(午前11時1分再開)

○教育長

休憩前に引き続き会議を開きます。

次に日程第2を議題とします。

(日程第2

協議事項 令和3年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 ただいま事務局から説明があったとおり、本日協議いたしますのは、令和3年度に小学校で使用する教科用図書の採択についてです。
- 昨年度採択いたしました小学校の教科用図書につきましては、法令により令和2年度から令和5年度までの4年間使用することになっています。
- 資料1のとおり、令和3年度に使用する小学校の教科用図書は、令和2年度からの変更はありません。
- この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの協議を了承します。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 協議事項 令和3年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 ただいま事務局から説明があったとおり、特別支援学級の教科用図書については、児童・生徒の発達段階、成長段階に合わせて、毎年度選定しているものです。
- この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの協議を了承します。
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 議案第26号 令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)(意見聴取))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですので採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第26号は原案どおり可決します。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5 議案第27号 令和元年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定
について(意見聴取))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようでしたので採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第27号は原案どおり可決します。
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 議案第28号 令和2年度目黒区教育委員会の権限に属する事
務の管理及び執行の状況の点検及び評価(令和元
年度分)について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようでしたので採決を行います。
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第28号は原案どおり可決します。
次に日程第7を議題とします。

(日程第7 報告事項 目黒区生涯学習実施推進計画の延伸及び改定の延期
について(案))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようでしたのでこの報告を受けました。
次に日程第8を議題とします。

(日程第8 報告事項 「人権週間区民のつどい2020」の中止等について(新型コロナウイルス感染症拡大防止対応))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第9を議題とします。

(日程第9 報告事項 教育委員会名義の使用承認状況について)

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長 その他なにかございますか。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時31分閉会)